

平成30年度横浜トリエンナーレ第7回展開催に係る市民協働企画運営業務委託プロポーザル提案書評価基準

1 評価項目

|           | 評価項目               | 評価基準   | 点数 |   |   |   |    | 評価者 |    |      |
|-----------|--------------------|--|----|---|---|---|----|-----|----|------|
|           |                    |  | 5  | 4 | 3 | 2 | 1  | 倍率  | 小計 | コメント |
| A<br>提案内容 | 事業趣旨の理解度           | 横浜トリエンナーレ及び市民協働事業の趣旨及び業務内容を十分に理解している。  |    |   |   |   |    | 1   | 5  |      |
|           | 継続性                | ①既存サポーターのこれまでの取組の発展・深化を意識した提案がされている。<br>②開催年にもっとも活動が活性化するような実施計画になっている。<br>③トリエンナーレの情報(アーティスト情報等)が少ない1年目2年目において、サポーターのモチベーションが維持できる工夫がされている。   |    |   |   |   |    | 2   | 10 |      |
|           | 多様性の理解・新しいサポーターの開拓 | ①多様なサポーターに応じたバラエティに富んだ活動プログラムが提案されている。<br>②新しいサポーターや活動していないサポーターを取り込む工夫がされている。特に、新しいサポーターの獲得、サポーター活動の周知するための広報やプロモーションなどの工夫がある。<br>③サポーター募集や、プログラム参加者募、サポーター間のコミュニケーションなど提案の中にインターネットを活用したものがある。 |    |   |   |   |    | 3   | 15 |      |
|           | 地域へのひろがり           | ①創造界隈拠点や大学、市内企業、各種関係団体等との連携を通じた、まちにひろがる取組が提案されている。<br>②サポーター活動を通じて横浜トリエンナーレを多くの市民の皆様にご存知いただく等、横浜トリエンナーレのすそ野を広げる取組が提案されている。   |    |   |   |   |    | 2   | 10 |      |
|           | 開かれた組織運営           | ①サポーターとの信頼関係構築方法などを具体的に提案し、サポーターとのコミュニケーションにポイントを置いた身近で開かれた事務局イメージを描いている。<br>②一部のサポーターの意見だけで物事が決まらず、サポーター全員の意見が反映されるような意思決定の仕組みに工夫がされている。  |    |   |   |   |    | 2   | 10 |      |
|           | 提案の独自性・妥当性         | ①サポーターの関心を喚起できるような事業者のユニークな取組が提案されている。<br>②スピーカーやプログラム主催者などとの登壇交渉ができるなど、上記各評価項目において具体的かつ実現可能性のある妥当性のある提案がされている。  |    |   |   |   |    | 3   | 15 |      |
| B<br>実施体制 | 人員体制               | ①2020年に向けて加速度的に活発になるサポーター活動における、柔軟で効率的な運営を行うための人員・組織体制が提案されている。<br>②提案内容を実現できる実現可能性の高い体制が計画されている。  |    |   |   |   |    | 3   | 15 |      |
|           | スケジュール／情報管理・情報共有   | ①適切なスケジュール管理及び事業推進にあたり委託者の綿密な情報共有・協議体制が構築できる提案となっている。<br>②個人情報の取扱いに関する教育を、従事者全体に対して徹底する方法を具体的に提案されている。<br>③サポーターからの企画提案に対して、迅速に対応できるスケジュールの組み方に工夫がされている。   |    |   |   |   |    | 1   | 5  |      |
|           | 予算配分計画             | ①業務遂行にあたって、妥当性・実現性のある予算計画が行われている。<br>②効率的な予算の執行計画やそのための工夫がされている。   |    |   |   |   |    | 2   | 10 |      |
|           | 業務実績               | ボランティア事務局運営等の類似の実績を有している。  |    |   |   |   |    | 1   | 5  |      |
|           |                    |  |    |   |   |   | 合計 | 100 |    |      |

2 評価方法

- (1) 各評価項目について、5段階評価を行うことを標準とする。
- (2) 各点数に倍率をかけ、100点満点で評価する。
- (3) 各評価項目について1点の評価がある者は、原則として選定しない。
- (4) 評価委員の採点の合計点数が同点の場合、次の順序で上位の提案をプロポーザルの上位者とする
  - ア 各評価項目について2点以下のものがない者
  - イ 各評価項目について5点が多い者
- (5) 上記場合においても同点の場合、総合評価点の高い者のみで再度評価を行い、最優秀案を決定する